

第41回臨時議員総会



議員の任期満了に伴う議員改選の結果、会員の代表者として選出された議員80人が決定しました。また、役員改選では2期目となる中野 豊氏が会頭に就任、新たな体制がスタートしました。

11月4日に開催した当所役員等を選任する第41回臨時議員総会では、会頭に阿部建設(株)取締役社長 中野豊氏を再任、副会頭には北海道ワイン(株)取締役社長 畠村公宏氏(再)、(株)樽石取締役社長 上参郷光祐氏(再)、椎野雅之税理士事務所所長 椎野雅之氏(再)、小樽倉庫(株)取締役社長 山本みゆき氏(新)、専務理事に薄井洋仁氏(再)を選任した他、常議員26名、監事2名の役員が決定しました。

中野会頭は就任挨拶で、次のとおり所信を述べました。

会頭就任2期目となりますが、使命感を持って誠心誠意、会頭の職を全ういたしますので、従前と変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

私が令和4年に会頭に就任した時から、小樽のまちの活力を取り戻すため、人口減少対策が最大の課題として、色々な事業に取り組んで参りました。

現在の小樽市の人口は、9月末で102,838人で、私が就任した3年前と比べると約6,200人(年2,000人)減少しています。人口構成から考えると、自然動態による大きな減少がしばら

く続くことは避けられませんが、社会動態による減少を出来る限り抑え、観光客など交流人口の活力を市内経済にしっかりと取り込む施策を進めて行くことが重要であると考えております。

つきましては、2期目に向けて会頭としての所信の一端を申し上げます。

積極的な意見・要望活動

社会資本整備や、人口減少対策に資する産業振興と雇用の場の創出、さらに移住・定住促進など、地域住民や事業者の事業継続を支えるための要望を積極的に行ってまいります。

そのためにも、当所約1,500会員の声を聴くことが重要であることから、会議所・会員双方による情報交換や交流活動を強化し、特にSNS等を積極的に活用し、商工会議所組織を活性化させるとともに、組織率を高めていくことが重要であると考えております。

中小・小規模事業者への

支援充実

中小・小規模事業者のあらゆる支援やサポートは、商工会議所が重要な役割を担っております。事